

胃がん検診を 受けましょう

胃がんは日本人に多い代表的ながんで、罹患率は大腸がんに次いで2番目に多いがんです。しかし、早期に発見・治療すれば十分に治癒が可能です。この機会に必ずがん検診を受けましょう。

●対象者

40歳以上の人（昭和62年3月31日までに生まれた人）。対象者には5月下旬に通知書（問診票）を郵送します。通知が届かない人で受診を希望する場合は、連絡してください。通知が届いた人でも、妊娠中の人や、胃・十二指腸の切除手術をした人、腎臓・心臓疾患で水分制限をしている人などは受診できません。

●検診内容

バリウムによる胃部X線撮影

●料金 1800円

※70歳以上の人などは料金が免除されます。詳細は、通知書を確認してください。

令和8年度 胃がん検診・大腸がん検診日程

検診日	会場	検診車数
6月1日(月)	滝沢勤労者体育センター	1台
2日(火)	小岩井地区コミュニティセンター	2台
3日(水)	あすみのコミュニティホール	2台
4日(木)	市多目的研修センター	2台
5日(金)	大釜地区コミュニティセンター	2台
7日(日)	葉の木沢山活動センター	3台
8日(月)		2台
9日(火)		2台
10日(水)		4台
11日(木)		2台
12日(金)		2台
14日(日)		滝沢ふるさと交流館
15日(月)	市東部体育館	2台
16日(火)		2台
17日(水)	川前地区コミュニティセンター	1台
18日(木)	南巣子集会所	1台
19日(金)	ビッグルーフ滝沢	3台
21日(日)		4台
22日(月)	鵜飼地区コミュニティセンター	2台

6月23日(火)	滝沢ふるさと交流館	3台
24日(水)		3台
25日(木)	大沢集落センター	1台
26日(金)	大川地区コミュニティセンター	1台
28日(日)	滝沢総合公園体育館	3台
29日(月)	一本木地区コミュニティセンター	1台
30日(火)	ビッグルーフ滝沢	3台
7月1日(水)	滝沢ふるさと交流館	3台
2日(木)	けやきの平集会所	1台
3日(金)	柳沢地区コミュニティセンター	1台
7日(火)	姥屋敷多目的研修センター	1台
8日(水)	北部コミュニティセンター	2台
9日(木)	滝沢ふるさと交流館	3台
10日(金)		3台
以下、大腸がん検診のみ		
7月21日(火)	葉の木沢山活動センター (受け付け 16:00～19:00)	
22日(水)	滝沢ふるさと交流館 (受け付け 9:30～11:45、13:15～15:00)	
23日(木)	滝沢ふるさと交流館 (受け付け 16:00～19:00)	
24日(金)	葉の木沢山活動センター (受け付け 9:30～11:45)	
29日(水)	滝沢市役所 (受け付け 16:00～19:00)	

●受付時間

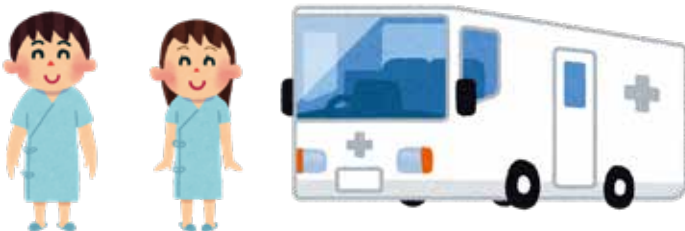
午前6時半～午前10時
※受け付け開始直後は混雑が予想されます。

●検診日程

上の表のとおり

●問い合わせ 健康づくり課 (☎6556・6527)

※大腸がん検診をまだ申し込んでいない人で、受診を希望する人は健康づくり課へ問い合わせてください。



熱中症を予防しましょう

これから湿度や気温の高い夏がやってきます。本格的に暑くなる前に熱中症予防について考えてみませんか。

●熱中症とは

高温多湿な環境に長時間いることで体温を調節する機能がうまく働かなくなり、体内に熱がこもった状態が熱中症です。
室内で熱中症を発症することもあり、場合によっては死に至ることもあります。

●熱中症になりやすい人

全国の救急搬送状況の年齢区別、初診時における傷病程度別などの内訳を見ると高齢者が最も多く※、より一層の配慮が必要で、子どもは発症数は少ないものの、暑さに弱いため注意が必要です。
※総務省「令和7年（5月から9月）の熱中症による救急搬送状況」

子どもの特徴

地面の照り返しで高い温度にさらされる

体調の異変をうまく伝えられない

汗腺が未熟



体温調節機能が未熟・熱中症になりやすい

保護者の皆さんへ

- ☑ 子どもの様子をよく観察し、遊びの最中に水分補給や休憩をしましょう。
- ☑ 外出時は風通しの良い衣服を選び、帽子や冷却グッズを使いましょう。
- ☑ 車で出かける際には、車内に子どもだけを残さないようにしましょう。

高齢者の特徴

汗をかきにくい

暑さを感じにくい



体の反応が弱く、気づかぬうちに熱中症に

本人・家族の皆さんへ

- ☑ 室温をこまめに確認し、エアコンや扇風機を使いましょう。
- ☑ のどが渇く前に水分補給をしましょう。
- ☑ 調子が悪いときは、家族や近くの人に連絡をし、そばにいてもらいましょう。

熱中症予防のポイント



○暑さを避ける

室温を確認し、エアコンの温度設定を調整する。
通気性の良い衣服の選択や暑い時間帯は外に出ないようにする。



○こまめに水分補給をする

のどの渇きを感じなくても、こまめに水分補給をする。
大量に汗をかいたときは、イオン飲料を飲む。



○暑さに負けない体を作る

日頃から健康管理に気を付け、十分な睡眠を確保する。
暑い時間を避け、適度な運動をする。

●梅雨明けの暑さに注意
梅雨の晴れ間や梅雨明けの時期は、体がまだ暑さに慣れておらず上手に汗をかくことができないため、体温をうまく調整できません。そのため、熱中症が多くなります。体が暑さに慣れるまでの期間も注意が必要です。

●フリーングシェルター

市では、熱中症による健康被害を防止するため、熱中症特別警戒アラート発表時などに休憩できる施設（フリーングシェルター）を指定しています。4月時点では、いわて生活協同組合ベルフ牧野林、マイヤ滝沢店、葉の木沢山活動センター、湖山図書館、市役所本庁舎、市民福祉センターの6施設です。

このフリーングシェルターは、6月から9月までの期間に熱中症特別警戒アラートが発表された場合、施設の利用時間の範囲内で市民が休憩場所として利用することができません。冷房設備を使用しているため、涼しく過ごすことができます。

フリーングシェルターとして利用可能な民間施設を募集しています。詳細は市HPから



●問い合わせ

- ・熱中症に関すること：健康づくり課（☎656・6527）
- ・フリーングシェルターに関すること：環境課（☎656・6510）